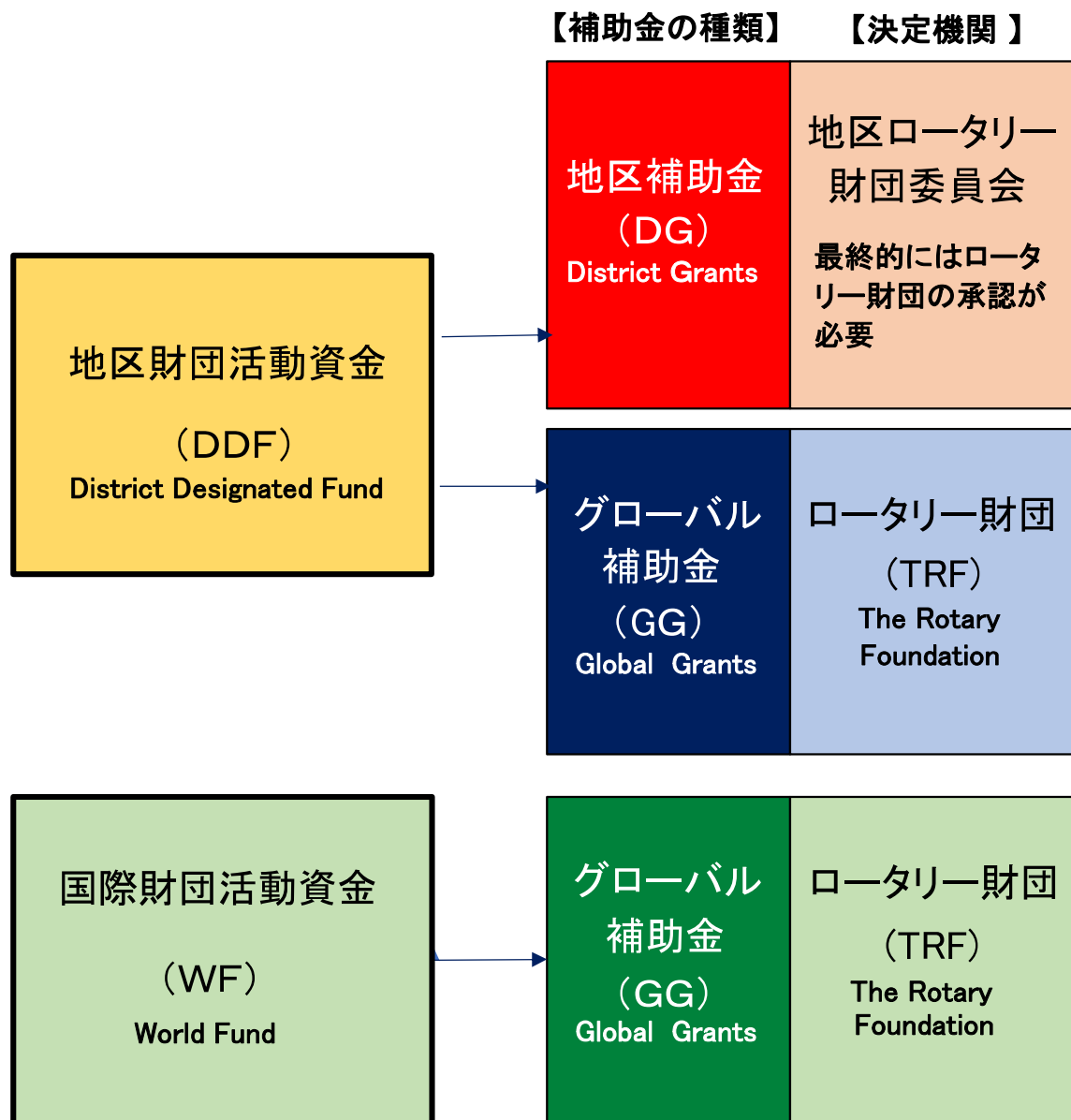


補助金の種類と決定機関

『国際ロータリーのロータリー財団』（以下、単に「財団」という。）財団活動資金には地区財団活動資金(DDF)と国際財団活動資金(WF)があります。それぞれに「補助金」の種類、決定機関が定められています。



- (1) 地区財団活動資金は、地区補助金やグローバル補助金として活用されています。地区内外、海外での奉仕プロジェクト、奨学生への支援や地区直轄プロジェクトに使われています。
- (2) 国際財団活動資金は、グローバル補助金と同額を配分したり、ロータリー財団直接の奉仕プロジェクトに活用されます。
- (3) グローバル補助金は、次の6つの重点分野の一つ以上に該当する比較的中、大規模のプロジェクトに活用する補助金です。

6つの重点分野



平和と紛争予防/紛争解決



疾病予防と治療



水と衛生



基本的教育と識字率の向上



母子と健康



経済と地域社会の発展

ロータリー補助金の概要(地区補助金とグローバル補助金)

地区補助金の概要	
財 源 等	地区補助金の財源は、地区財団活動資金(DDF)とクラブ拠出金です。当地区では、DDFの概ね50%を地区補助金に配分します。各クラブ等への配分額は、内容や申請クラブ数や申請状況等により減額する場合があります。 事業内容: 「ロータリー財団の使命に関連したプロジェクト及び「ロータリアンが積極的に参加するプロジェクト」事業。
申 請	地区が一括して申請し、一括して補助金を受け取ります。 その後地区から補助金を各クラブ等に送金します。
期 間	比較的短期間のプロジェクトです。実施年度の7月からその翌年5月10日までに完了しなければなりません。但し、プロジェクトへの支払いは、地区より入金後に行ってください。
規 模	比較的小規模なプロジェクト。(但し、規模に制限はありません。)クラブの継続事業でも3年に1回は申請可。但し、相手先、内容を刷新したプロジェクトにしていただきたい。
奨 学 生	奨学期間は1年から2年。奨学金は1年間の費用を支援する。 研究分野・留学先を問わず、海外の大学又は大学院で学ぶ方。但し、地区内に本籍、居住地、通学・勤務先のいずれかがあること。
予 算	1件当たりのプロジェクトへの補助金「一般応募」は、奉仕プロジェクト費用の80%かつ50万円を上限に配分します。但し、50万円を超え100万円未満の地区補助金申請「特別応募」は、地区へ個別にご相談下さい。 特別応募の場合は、月次の資金管理報告が義務付けられていますので、事前に財団補助金管理委員会より必ず個別説明を受けて下さい。
地 域	国内の活動でも、国際レベルの活動でも可能です。 相手国にロータリークラブの有無は問いません。
そ の 他	青少年の旅行を伴う事業は制約事項があります。 奉仕プロジェクトの分野は問いません。 実施済みの地区補助金プロジェクトに対する完了報告書を期限までに速やかに提出しなければなりません。 プロジェクトの終了後残金が生じた場合、補助金は財団に返却していただきます。 グローバル補助金プロジェクトに限り、海外で奉仕活動をするため、またはプロジェクトの調査をするためのロータリアンの旅費は地区補助金で申請できます。

グローバル補助金の概要

財 源 等	グローバル補助金の財源は、DDFと国際財団活動資金(WF)と拠出金(現金)の組み合わせです。 WFの組み合わせ率はDDFには1対1、拠出金(現金)には1対0.5の割合です。個人の用途指定寄付金も対象になります。
申 請	プロジェクト1件ごとにクラブ等が直接財団に個別にオンライン申請します。
期 間	長期にわたるプロジェクトです。職業研修チーム、(VTT) は短期の場合もあります。
規 模	持続性のある成果を上げ、かつ、その成果を測定することができなければならない。比較的大規模プロジェクト。
奨 学 生	奨学期間は、1年から4年。奨学金の額は、留学年数にかかわらず一括、一定金額を支援する。 6つの重点分野で海外の大学院又は大学院と同等以上の機関で学ぶ方。
予 算	1件当たりのプロジェクトは最低30,000ドル以上です。グローバル補助金は15,000ドル以上です。 財団ではGG(グローバル補助金)に対し100%同額を上乗せします。 「クラブと個人の拠出金に対し財団は50%(半額)を上乗せ」を財源枯渇のため2020年7月1日より中止しました。 詳細は個別に地区財団委員会へ相談してください。
地 域	2カ国以上のクラブまたは地区が参加する国際プロジェクトのみです。 ロータリークラブが存在する国または地域のプロジェクトのみを対象とします。
そ の 他	「6つの重点分野」の1つ以上に該当するプロジェクトでなければなりません。 実施国側提唱者と援助国側提唱者の両者が必要で、しっかりした相手を選ぶ必要があります。 個別のプロジェクトの残金は必ずWFに返却しなければなりません。 財団がプロジェクトを1件1件直接審査し、補助金を個別に授与します。 ロータリアンの旅費はグローバル補助金では申請できません。(ただし、職業研修チームのチーム・リーダーを除きます。) 2018.7より、グローバル補助金プロジェクト(VTTを含む)実施クラブは、申請前に地区社会のニーズ調査を実施し、その結果を申請書に含めることが義務付けられている。 DDFを使用するプロジェクトについては事前に地区の承認を得てから、オンライン申請をしてください。

RI 第2780地区ロータリー財団 資格取得のためのセミナーや説明会

出席義務者は会長エレクトまたは会長エレクトが指名する会員及びプロジェクト担当者の内から2名以上

地区補助金	グローバル補助金
財団セミナー 1クラブ2名以上	財団セミナー 1クラブ2名以上
地区補助金説明会 1クラブ2名以上 ・1年に2回ある説明会の内、必ず1回出席する	補助金管理セミナー 1クラブ2名以上 ・1年に2回開催するセミナー12か月以内に必ず受講する (修了証を受け取る)
50万円を超え100万円未満の特別応募クラブ 補助金管理セミナー 1クラブ2名以上	上記のセミナーの出席が、MOUをクラブと地区でかわす条件となる

RI 第 2780 地区補助金の制約事項

1. チケット代・入場料(障害者の支援は可)
2. 史跡の標識・モニュメント
3. 文化的イベント・講演会・コンサート等
4. 募金活動
5. 金銭だけの協賛金・寄付金(注)
6. ロータリー行事
7. 土地・建物購入
8. 基金寄付
9. 広報(プロジェクトに必要な広報は可)
10. 商品・景品
11. すでに経費が発生しているプロジェクト
12. 他団体の運営費・管理費
13. 単なる物品の寄贈

注) ロータリアンが直接参加する活動であり、不特定多数の人々のために利用される寄付は可。

ロータリアンの飲食、旅費は原則不可。

(グローバル補助金のプロジェクト関連の旅費は1プロジェクト1回のみ可)

参考資料リスト My Rotary から (<http://rotary.org/jp>)

地域を成功に導くリーダーシップ ロータリー財団委員会編2018-21年度
ロータリー財団補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件(制約事項含む)
グローバル補助金ガイド
重点分野の基本方針
グローバル補助金のテンプレート
グローバル補助金 モニタリングと評価の計画について
ロータリー財団年次報告書2018-2019年度